

令和2年度第3回障害者地域自立支援協議会 地域生活支援専門部会報告

1 令和2年度実施状況

第1回 令和2年9月4日（金）→第2回親会（12月8日）で報告済み。

第2回 令和2年12月4日（金）

第3回 ~~令和3年3月12日（金）~~→緊急事態宣言再延長に伴い、中止

2 第2回内容総括（12月4日）

(1) 駒込地区の特色・成り立ち等について

駒込地区の特色・成り立ち等について関係者4名から情報共有を行っていただき、令和3年度に開設する駒込地区の地域生活支援拠点の整備に活用する。

(2) 新堀高齢者あんしん相談センター駒込センター長より説明

- ・ 歴史があって人間関係が深い地区である。しかし、時代の移り変わりによりコミュニケーションを取りづらい住民も増えてきたことが課題と聞いている。
- ・ 家族だけで障害者を支えている家庭が多いという印象がある。高齢者の相談に入ってはじめて障害者の子がいたことが判明することもある。
- ・ 近隣トラブルや家族の不和による問題に対応する中で障害者と接する機会もある。
- ・ 圏域のひきこもりの事例の約20件のうち、およそ半分以上が障害関係であった。

(3) 小谷野委員（保健サービスセンター本郷支所職員）より説明

- ・ 一軒家が多く、長期間居住している住民が多い。老々介護や障害を持った子が親を看取ること、遺産や相続といった問題が見受けられる。
- ・ 大学生や学生の親からの相談も多い。学生がサービスを受けたがらないこともあり、保健師だけでは対応できず、拠点と連携して対応していきたいケースもある。

(4) 秋元神明西部町会長より説明

- ・ 新しい転入者と地域の絆づくりが課題。昔は障害者の家庭の状況が見えていたが、今はほとんど見えてこない。町会がお世話しようとしても拒まれてしまう。
- ・ 「こまじいのうち」と「こまびよのうち」（児童対象）には、発達障害、ひきこもり、要介護者などの方々が訪れている。
- ・ 災害時の要支援者名簿を活用して月1回の見回りを行っており、有事の際にはお世話させてもらうことを説明している。

(5) 菅千駄木三丁目北町会長より説明

- ・ 各町会、青少年健全育成会の繋がりが深い。古くから居住している住民が多いが、新しい転入者も増えている。
- ・ 役員の高齢化が課題である。昨年「千駄木サポーターズ」という組織をつくった。イベントの手伝いなどをしてもらって町会に関心を持ってもらい、若い人が町会役員になることに繋げていこうというものである。
- ・ 千駄木三丁目北町会と他町会共同で管理していた町会会館を活用して「子ども食堂」を4年ほど前に開設した。
- ・ 古い貸家を活用して「坂下テラス」を開設した。半分は焼き菓子の専門工房、半分は地域のコミュニティとしている。

(6) 質疑応答

質問 町会や民生委員には障害、難病、医療的ケア児に関する相談が入ってくるのか。

回答 ・町会には入ってこない。近隣トラブルの相談はある。「こまじいのうち」では高齢者のひきこもりの相談などがあつた。
・直接、相談が入ることはあまりないが、地域の世話好きな方からどこの家庭にどのような問題があるといった情報が寄せられ、地域福祉コーディネーターと対応したことがある。

質問 障害者の支援者は一対一の関係になりやすいので、地域の方と複数人で支援できるようにしていきたい。地域の世話好きな方とつながるための方法があれば教えてほしい。

回答 ・世話好きな方は多くいると思う。しかし、助けてもらう側が拒否してしまうと世話することも難しい。お世話を拒否する方に対して「拒否していると周りが迷惑します。」と話すとな得してくれる方もいる。
・世話好きな方を見つけることは難しいが、なるべく顔の見える関係を地域に多く作ることが大切である。

質問 拠点の事業を進めていくために地域の方と協働していきたいが、どのような姿勢で地域の住民と交流していけばいいか。

回答 ・「こまじいのうち」では地域に住む人は皆家族という考えで運営している。地域に認知されるような方法を難しく考えずにとりあえず実践してみて、うまくいかなかったらやめてもいいという考えもある。実施して話し合っていく中で必要な取組みかどうか整理されてくる。
・青少年健全育成会に参加してみてもどうか。地域懇談会で地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校、PTA 会長などと情報交換をする機会がある。地域のイベントの手伝いもするので地域の方と顔なじみになれる。

(7) その他

「こまじいのうち」で障害者の相談に乗った事例2件について。

- ・発達障害の子の事例。食べ物をなんでも食べてしまい、お金を持っているとお菓子を買って全て食べてしまう。母親が「こまじいのうち」にお金を預けて、「こまじいのうち」のスタッフが必要な時にお金を渡して買ってくるように伝えるなどして対応したことがある。
- ・発達障害の大学生の事例。進路のことで親と仲が悪くなった。「こまじいのうち」に本を持参して解説をするので、質問したり別の本を紹介するなどしてある種の相談に乗ったことがある。